

大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結



協定を締結した市長と迫上支店長

7月26日、当市と大塚製薬株式会社との包括連携協定締結式が金木総合支所で行われました。今回締結した協定の主な内容は健康増進、熱中症対策、スポーツ振興、災害対策となっています。災害対策の連携の1つとして、停電時に手で飲み物や栄養補助食品を取り出して市民に提供できる自動販売機が同日、金木庁舎に設置されました。今後はコミュニティセンターや小中学校へ自動販売機の設置を検討していきます。

締結式では佐々木市長と大塚製薬株式会社仙台支店の迫上支店長が協定書に署名しました。佐々木市長は「自動販売機の設置が金木地域の災害対策の拡充につながる」と、迫上支店長は「市民の皆さんの健康増進のため連携を強化していきたい」と話しました。

交通ルールを守りましょう！



交通事故防止を呼びかける佐々木会長

7月21日～31日の期間「夏の交通安全県民運動」が実施されました。五所川原市交通安全対策協議会では、21日に早朝街頭指導を行ったほか、オルテンシアで交通安全五所川原市民大会を開催し、佐々木孝昌会長が交通事故の抑制と交通事故死ゼロの継続を目指し、交通事故防止にまい進することを誓いました。

また、同協議会副会長の見世明久五所川原警察署長は「(横断歩道で)とまる・(シートベルトを)しめる・(飲酒運転等の危険運転を)やめるの定着と、歩行者保護の取り組みを推進していきます」と話しました。

日頃から、市民一人一人が交通ルールを順守し、正しい交通マナーを実践しましょう。

人命救助活動功労者を表彰



表彰された須藤さん(前列中央)と外崎さん(前列右)

7月21日、市内大字石岡字藤巻地内で人命救助を行ったとして、外崎友基さん(市内在住)、須藤郁弥さん(板柳町在住)に表彰状が授与されました。

6月2日、80代男性が自転車で走行中にハンドル操作を誤り、深さ約1メートルの用水路へ転落したのを自家用車で走行中の須藤さん、外崎さんが目撃。2人が協力し合い男性を用水路から救出し、救急隊に引き継ぎました。救助された男性は病院へ搬送されたものの無事に退院し、現在は自宅で療養しているそうです。

外崎さんは「今まで事故に遭遇したことがなかったが、男性を救助できて良かった。もしも、また事故に遭遇したときは救助したいと思う」と、須藤さんは「大事にならなくてよかった。救助することにためらいはありませんでした」と話しました。

県産リンゴのブランデーが完成



アップルブランデーをお披露目した木村代表(右から2人目)

7月13日、つがる市のサンアップル醸造ジャパン(木村慎一代表取締役)が副市長を表敬訪問しました。

同社は当市大町に工場兼店舗の「モホドリ蒸留研究所」を建設し、9月30日のオープンに向け県産リンゴを使ったアップルブランデー「ラブヴァドス」を完成させました。

吉岡尚哉工場長は「アルコール度数25度のホワイトブランデーで女性でも飲みやすいのでは。県産リンゴに岩木山の伏流水と白神酵母を使用し、フレッシュな仕上がりになった」と製造のこだわりを話しました。

木村代表は「高齢化の進むリンゴ農家の一助になれば」と話しました。

